



ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/

自治労きょうと

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932・FAX.075-231-4918 発行人・岡本哲也 編集人・森本尚秀
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

毎月1日、15日発行

9 / 1
2025

第900号

野球、バレーとも惜敗

第45回地連スポーツ大会in奈良



京都市職 0—5 奈良県職連合

近畿地連は8月4日から2日間、奈良県奈良市と大和郡山市で地連スポーツ大会を開催。野球大会は、なりつけ職労が出場した。野球大会は、なりつけ職労が出場した。

1球場で行われた。京都代表の自治労京都市職は1回戦で、地元奈良代表の奈良県職連合と対戦。

京都市職は1—2回、先発投手の制球の乱れもありピンチを招くが無失点で切り抜けた。しかし3回裏・1死満塁のピンチから犠牲フライで1点を先制される。4回裏には四球と長短打をあわせて4点の追加点を許し、0—5とリードを広げられた。攻撃では後半粘りを見せたものの、規定に見合終了となれば、京都代表の八幡市

0—5とリードを広げられた。京都代表の八幡市

0—5とリードを広げられた。京都代表の



水週間施設見学研修会

府本部公企評は7月26日、自治労水週間の取り組みとして施設見学研修会を開催。4単組から16人が参加した。自治労では8月1日の水の日において、「水週間」と定め、健全な水循環の確立をめざして各県での取り組みを行っている。

京都では水や自然の恵みに支えられ、「水と生きる」企業の活動を学ぶため、サントリー京都ビル工場を見学した。

夏休み中ということで家族の参加もあり、水の大ささを考えることなどを行なった。

府本部
公企評

「水と生きる」企業の活動を学ぶ

こくみん共済 NEWS
5124A024

じちろう マイカー共済

自動車総合補償共済

契約者=組合員で
**家族の車も
団体割引30.0%***

団体割引は
多くの組合員の利用と
安全運転に
支えられています。

*団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。

2024年11月更新契約より
(新規契約は2024年10月効力開始契約より)

主たる被共済者になれる方

- 組合員本人
- 組合員の配偶者
- 組合員の同居の親族*
- 組合員の配偶者の同居の親族*

*別居の未婚の子も含まれます。

現在加入している保険(共済)の適用等級や過去履歴によっては、契約を引き受けできない場合があります。

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部
全日本自治労働者共済生活協同組合



自治労共済推進本部は
「7才の交通安全プロジェクト」
に取り組んでいます。

契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
「こくみん共済 coop」は営利を目的しない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



京都市職清掃支部中心に79人

自治労京都市職清掃支
部は7月15日、祇園祭の
ごみを減らす取り組みと
して、「祇園祭ごみゼロ
大作戦」にボランティア
として参加した。清掃支
部からの62人をはじめ、
府本部や京都市職、八幡

・資源めぐりプラン」に

に満ち溢れる祇園祭のご
み減量活動に汗を流し
た。

この取り組みは、「京
市職労、本部清掃部会の
繋がりで岡山県の現業職
員など、総勢79人が熱気

の宵山において、
屋台等で利用され
る使い捨て食器
を、何度も洗って
繰り返し使用でき
るリユース食器に
書き換え、祭りで出るご
みの減量をめざす日本最
大級の環境保全活動で、
2014年からスター
ト。毎年約2000人のボ
ランティアスタッフが
参加し、ごみの減量に大
きな効果をあげている。

活動内容は、リユース
食器の回収、ごみの分別
ナビゲーション、ごみの
拾い歩き、ステーション
からのごみの排出等、各
グループに分かれて取り
組みを行った。



主催者による「これまで
の成果は、①180万
食分のリユース食器を提
供し多くのごみを削減。
②開始当初の2014年
は約60tだったごみ回収
量を10年で約35tに削減
した」という。

岡山からの参加者は
「分別する意識が市民に
浸透していることを感じ
ることができた。岡山で
も祭りがあるので同じよ
うな取り組みができる
ば」と話した。

祇園祭のごみをなくそう ごみゼロ大作戦に参加

に基づき、「リデュ
ース」と「リユ
ース」の2Rを促進
するため、祇園祭

の宵山において、
屋台等で利用され
る使い捨て食器

を、何度も洗って
繰り返し使用でき
るリユース食器に
書き換え、祭りで出るご
みの減量をめざす日本最
大級の環境保全活動で、
2014年からスター
ト。毎年約2000人のボ
ランティアスタッフが
参加し、ごみの減量に大
きな効果をあげている。

活動内容は、リユース
食器の回収、ごみの分別
ナビゲーション、ごみの
拾い歩き、ステーション
からのごみの排出等、各
グループに分かれて取り
組みを行った。

主催者による「これまで
の成果は、①180万
食分のリユース食器を提
供し多くのごみを削減。
②開始当初の2014年
は約60tだったごみ回収
量を10年で約35tに削減
した」という。

岡山からの参加者は
「分別する意識が市民に
浸透していることを感じ
ることができた。岡山で
も祭りがあるので同じよ
うな取り組みができる
ば」と話した。

とじまるの健康づくりを

府本部は7月23日、こ
どもみらい館にて「府本
部2025年度労働安全
衛生学習会」を開催し、
8単組13人が参加した。

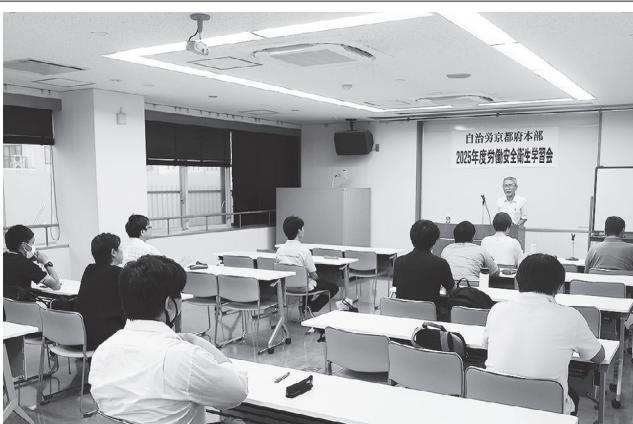
講師には、京都産業保健
システム支援センターのメン
タルヘルス対策・両立支
援促進員である今坂一郎
さんを迎えて、「こころの

健康づくり(メンタルヘル
スケア)とは?」をテ
ーマに講演を受けた。

講演では、ご自身の経
験談を踏まえ、うつで苦
しこと/orや仕事への向
き合い方について語られ
た。今坂さんは、ストレ
ス反応の要因として「職
場・仕事」「家庭・生活」「
社会・地域環境」とい
ったストレッサー(外部
からの刺激)を挙げ、そ
れを和らげる要因や適切
な対処法、心身への影響
について解説した。

また「ストレッサーは
要ではなく、自分が成
長していくための材料と
して受け止めることができ
ており、逃げようとする
と逆に押しつぶされ
てしまう」と強調した。さ
らに、うつ病や適応障害
などのストレス関連疾患
を防ぐためのメンタルヘル
スケアの基本として、
①良好な人間関係、②健
康な身体、③こころの在
り方の3点を深く理解
し、ストレッサーに対し
てプラス思考へ転換する
ためのトレーニングが必
要であると訴えた。

近頃、メンタル不調に
よりの退職者が増えている
中、健康で長く働ける職
場環境を維持するために
も、「こころの健康づく
り」を働く仲間に広く伝
えることが、重要かつ不
可欠であると結んだ。



府本部労働安全衛生学習会

健康づくり(メンタルヘル
スケア)とは?」をテ
ーマに講演を受けた。
講演では、ご自身の経
験談を踏まえ、うつで苦
しこと/orや仕事への向
き合い方について語られ
た。今坂さんは、ストレ
ス反応の要因として「職
場・仕事」「家庭・生活」「
社会・地域環境」とい
ったストレッサー(外部
からの刺激)を挙げ、そ
れを和らげる要因や適切
な対処法、心身への影響
について解説した。

また「ストレッサーは
要ではなく、自分が成
長していくための材料と
して受け止めることができ
ており、逃げようとする
と逆に押しつぶされ
てしまう」と強調した。さ
らに、うつ病や適応障害
などのストレス関連疾患
を防ぐためのメンタルヘル
スケアの基本として、
①良好な人間関係、②健
康な身体、③こころの在
り方の3点を深く理解
し、ストレッサーに対し
てプラス思考へ転換する
ためのトレーニングが必
要であると訴えた。

近頃、メンタル不調に
よりの退職者が増えている
中、健康で長く働ける職
場環境を維持するために
も、「こころの健康づく
り」を働く仲間に広く伝
えることが、重要かつ不
可欠であると結んだ。



▲今坂さん

京都市&ラボール学園のリカレント教育講座

2025年度秋期 京都労働学校
10月~2月開講 ラボール英会話教室

受講生募集

新講座

- 資産形成・運用
- 和裁
- デジカメ撮影
- 英語で物語を作ろう 他

英会話

- 6レベル別レギュラーコース
- AI入門/活用
- スピーチングスキル実践
- リスニングのコツ
- ゼロから学ぶ英会話 他

スキルアップ

- 資金・福利厚生をめぐる法知識
- 確定申告
- 3級FP
- 簿記
- フランス語
- 韓国語
- AI入門/活用 他

主催

京都市&ラボール学園

お申込は、WEB・電話にて



075-801-5925

(公益社団法人京都勤労者学園)

受付時間 平日9:00~20:00

土曜9:00~17:00 (日曜・祝日は休み)

「やつてみたかった」に、
近づけられます。



詳しくはHP/講座案内をご覧ください。⇒

中京区四条御前 ラボール京都3F

ラボール学園

